

緑の教育

緑の自然のごとく あしたをひらく豊かな心

緑の若葉のごとく あしたを創る確かな学力

緑の大樹のごとく あしたを担うたくましい身体

新たな目標に向けて

始良・伊佐教育事務所長 児玉 恭子

春の陽気に包まれ、桜や菜の花の美しい色に気持ちも明るくなる季節になりました。別れの寂しさもありますが、新しい出会いにわくわくする季節でもあります。私たち教育事務所も、今、令和4年度を振り返り、令和5年度はどんな年にしようかと頭をひねっております。この1年皆様から得た情報、よい取組、課題を再度確認した上で、本地区の課題解決と子供たちのさらなる成長のために何ができるのか、思案しなければならない大事な季節であると考えております。

今回は、これから私たちが目指すべき教育の方向性について、考えたいと思います。5年毎に見直される「教育振興基本計画」。鹿児島県の今期計画は令和5年度までですが、国の計画は、現在見直し中です。検討の中で示されているのはこれからの人材に求められる資質や能力。資質としては、「主体性」「チームワーク・リーダーシップ・協調性」や「学び続ける力」。能力としては、「課題設定・解決能力」「論理的思考力」や「創造力」など。推進計画にはこれらの新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善をさらに推進することや、その成果を確認するための「指標」についても記載されます。例えば、

- 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は増加しているか
- 調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した学校の割合は増加しているか
- 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた学校の割合は増加しているか など・・・

私たちも、このような大きな方向性を踏まえた上で、具体的な指標を持って今後の教育活動に取り組みでいく必要があります。本号では、定着度調査から見える課題、学力向上に向けた学校での研究や研修の在り方、心豊かな子供たちの成長や先生方の学びを支える観点から記事を掲載しております。思いを共有して準備に取り組み、明るい令和5年度を迎えられればと思います。

今後の教育政策に関する5つの基本的な方針

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて**学び続ける人材の育成**
- ② 誰一人取り残さず、**全ての人の可能性を引き出す**共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で**共に学び支え合う**社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話



< 中教審答申（次期教育振興基本計画について）より一部抜粋 >

教職員のためのKagoGIGA情報交流室の登録をお願いします！

GIGAスクール構想の実現を目指した県全体のICT活用の充実を図るために整備されたMicrosoft Teamsを使った情報交流のためのプラットフォーム「KagoGIGA情報交流室」をご存知ですか。ICT活用に係る最新情報や研修会等の情報提供、教員相互に相談やデータの共有等ができます。

- 【コンテンツ】
- KagoGIGA情報交流室(メイン)
 - アプリ活用-授業編
 - アプリ活用-業務改善編
 - オンライン活用編
 - MEXCBT・学習eポータル編
 - よろず相談-みんなで解決!! 箱
 - アプリ活用-行事編
 - ICT仕事時短テク編
 - デジタル教科書編
 - など

「KagoGIGA情報交流室」に登録し、ICTに関する情報交流をしてみませんか？

登録方法「Microsoft Teams」

- ↓ 「チームに参加、またはチームを作成」
- ↓ 「コードを使用してチームに参加します」
- ↓ 「コードを入力」

コードや登録の詳細については、学校にお尋ねください。

令和4年度 鹿児島学習定着度調査の結果から

- ・ 小学校は、全教科で県平均を上回る結果
- ・ 中学校は、県と同等(国語)、1年英語は上回ったが、社会、数学、理科に課題あり!

新年度に向けて(チェック)

- 既に分析を終了し、児童生徒の定着状況や課題点を把握している。
- 児童・生徒質問紙と学校質問紙を比較し、違いを把握する。
- 年間指導計画や教科書等に、課題があった領域・分野についてチェックを行うなど、今後の指導の在り方を検討している。
- 課題のあった領域・分野について、その改善を図る取組を行っている。
(授業改善、計画的な演習問題の実施、個別指導)
→確実にできるまで徹底!
- 家庭学習等で改善を図る取組を行っている。

できるまで!
あきらめない!



求められる
知識及び技能

思考力・判断
力・表現力等

学びに向かう
力・人間性等

確かな学力の定着を!

令和4年度 地区指定研究協力校(7校)の取組

<p>湧水町立轟小学校</p> <p>道徳教育(地区道徳教育研修会) 多面的・多角的に考えて議論し、学びを深め合う子どもの育成 ～言葉の力を磨き、深く学ぶための取組を通して～ [R4. 6. 28公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な考えを引き出すタブレットの活用「ロイロノートを活用した意見交流」、「シンキングツールを活用した対話活動」 ○ 立場を意識した意見交流の場の設定「自分」「相手」「社会」カードやシンキングツールを活用した活発な意見交流 	<p>湧水町立栗野中学校</p> <p>道徳教育(地区道徳教育研修会) 生徒の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる授業の在り方 [R4.7.6公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な意見表明を促す場面設定や多様な意見表明の手段を用いた「多面的・多角的な思考を促す工夫」 ○ ワークシートや振り返りシート等による「自己の変容を実感させる工夫」 ○ アンケート機能や心情メーター等による「ICTの活用」 ○ 教材・教具の共有化や情報発信等による「道徳授業における取組」 	<p>始良市立柁城小学校</p> <p>学力向上(ICT活用) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する学習指導法の研究 ～主体的・対話的で深い学びにつながるICT機器の効率的・効果的な活用を通して～ [R4. 10. 27公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 合い言葉は教員も子どもも「とにかく使ってみよう。」 ○ ICTを生かした学びの「可視化」「個別化」「共有化」 	<p>霧島市立牧之原中学校</p> <p>学力向上 自ら学び考えを深め合う生徒の育成 ～「学習の構え」の確立と「論理的思考力」の育成を目指して～ [R4. 11. 10公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「牧中スタイル」の作成・実践(学習の構え、じこかん) ○ 思考を「つむぐタイム」(思考を比較、関連付け、練り上げる対話活動の工夫) ○ 「+1問」プラスワン(類似・応用問題により「できた」と実感をもたせる。)
<p>霧島市立安良小学校</p> <p>学力向上 自ら学び、考え、表現することのできる子どもの育成 ～少人数・複式学級における新たな学びのカたち～ [R4. 2. 9公開]</p> <p>取組のポイント</p> <p>新しい学びのカたち(複式指導における授業改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びを高めるICT活用「ガイド学習にロイロノートの機能を活用」 ○ 学びを広げる遠隔授業の活用「多様な意見や考えに触れられる他校との交流、合同学習」 <p>※ 始良・伊佐教育事務所HP 令和3年度地区研究公開ページに掲載</p>	<p>始良市立松原なぎさ小学校</p> <p>学力向上 主体的に考え、他者と協働して学びを高める子どもの育成 ～「書く活動」に着目した学習指導を通して～ [R5. 2. 9公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書く活動に着目した授業づくり「なぎさペンタゴン」、「なぎさトライアングル」の活用 ○ 書く活動を支える環境づくり「言葉の宝箱の掲示による語彙力向上」、「様々な表現方法に触れるための児童の振り返りや児童の作品の掲示」 	<p>伊佐市立山野小学校</p> <p>読書指導(県指定) 子どもが本を身近に感じ、自ら読書に親しむ態度の育成 ～国語科を中心とした単元構想の工夫と多様な読書活動の取組を通して～ [R5. 2. 17公開]</p> <p>取組のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画や単元を通じた読書の位置付け(並行読書) ○ 読書環境の充実(読書活動の見直し、第二図書室の設置、図書掲示物の工夫) 	<p>研究内容や公開授業の様子を始良・伊佐教育事務所HPに掲載しています。ぜひご覧ください。</p>  

令和5年度 始良・伊佐地区コアスクールプロジェクト

こんなふうに、教師の主観で感覚的に語られる校内研修になっていませんか？

子供たちは、本当に生き生きと学んでいました。

グループでの話し合いは、とても充実していました。

今日は、どの子供も学習内容をしっかり理解できていました。

コアスクールプロジェクトが目指すのは **子供の学びの姿を根拠** に **授業検証**を行う校内研修 です

子供の学びの姿から始まる校内研修推進プロジェクト

子供の学びの姿を見取り授業改善につないだり、教員の同僚性を構築し組織の活性化を図ったりする校内研修のよさを、令和5年度は、地区内全ての小・中学校に広げ、確かな学力の向上につなげます。

コアスクールプロジェクトが目指す校内研修では、

○ 子供の学びの姿を
観察して記録します。



※ 授業を観察した後、記録した子供の学びの姿を一つずつ付箋に転記します。

今のよく分からなかったから、もう1回いいですか？

「あっ、分かった。」と言って、後ろの生徒に説明した。

声や表情で反応する。(え？なるほど！うんうん！違う！)

リーダーが話し合いの手順とゴールを繰り返し説明した。

リーダーの声かけ(質問は？今ので分かる？結論は？)

クラゲチャートで「Aが正しい」とまとめる。根拠は4点。

Jump問題を終え、Aを支援。Aも解答できて、笑顔。

ヒントを見てStepをクリア。時間切れてJumpはできず。

自分でまとめを書いた後に黒板を見て「よし！」と頷く。

○ 子供の学びの姿を
整理して分類します。



※ 子供の学びの姿についての解釈を交流し、まとまりごとにタイトルを付けます。

**安心感に支えられて
生き生きと学ぶ姿**

**リーダーを中心に
合意形成を図る話し合い**

**「できた」を味わう
まとめの時間**

○ 背景にある教師の
姿を検証します。



※ 教師の動きかけを検証し、明日から取り組む共通実践内容を設定します。

「分からないこと」や「意思表示などの聴く態度」を大事にする学級経営が大切になってくる。

リーダーへの事前指導が効果的だ。合意形成を図る場面設定や思考補助ツールの活用は全教科で必要だ。

個に応じた学びを支える環境(ヒト、コト、モノ)が全ての子供の満足感につながっていく。

子供の学びの姿から始まる校内研修を一緒に学びましょう！

1学期 地区合同研修会(日当山中学校)

8月4日 研修担当者等研修会(国分シビックセンター)

2学期～ コアスクールプロジェクト校内研修
(日当山中学校, 重富中学校, 栗野中学校)

9～10月 コアティーチャーネットワークプロジェクト
検証授業 (実施校は調整中)

わたしも大切 あなたも大切 ～マスク着用の考え方が変わった今～

マスクの着用の考え方について（厚生労働省HPから一部抜粋）

【令和5年3月13日から】

個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断が基本となります。

感染拡大防止対策として、マスクの着用が効果的である場合などについては、マスクの着用を推奨します。

学校ではマスクを外したいけれど、周りのことが気になってしまう。

マスクなしの生活に慣れていないから、これからも着けたままではいけないのかな？

参観日や行事の時に、保護者や地域住民が学校に行く場合には、今までのようにマスクを着けるのだろうか？

人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりを！！

児童生徒は、マスク着用の「今まで」と「これから」に対して、戸惑いや不安を抱えているかもしれせん。

- マスクや対策についての丁寧な説明や情報発信
- 自他の人権についての理解の促進
- 自他の大切さを認めることができる人権感覚の育成

などにより、マスク着用の有無によるいじめや偏見、差別がないよう適切に指導を行う必要があります。

児童生徒が自他の人権についてしっかりと理解し、**人権を守るための実践行動ができるようにすることが重要**です。人権感覚を育むには、「協力・参加・体験」を中核とした「**体験的な学習**」などが効果的です。「体験的な学習」については、人権教育指導資料「仲間づくり」平成30年度版及び令和2年度版をご覧ください。

マスクをしていても、してなくても…



マスクをしていることや、していないことで、いじめ・偏見・差別があってはけません。

一人一人のちがいを理解して、お互いを認め合うことが大切です。

わたしも大切 あなたも大切

鹿児島県教育委員会



県教育委員会啓発資料
「マスクをしていても、してなくても…」

令和5年度 臨時的任用教職員募集

始良・伊佐地区の小・中学校で
「先生」をしませんか。

未来を拓く子供たちがあなたとの「出会い」を待っています。

教員免許をお持ちの未経験の方もぜひ御連絡ください。

連絡先 ① まずはお気軽に御連絡ください。
電話でもメールでもOKです

始良・伊佐教育事務所 管理課

〒899-6212
鹿児島県始良市加治木町諏訪町12
(始良・伊佐地域振興局内)
☎ 0995-63-8133
✉ airaisa-kyo@pref.kagoshima.lg.jp



シリーズ!始良・伊佐教育事務所員が紹介する 私の元気の出る言葉⑪

「きっと誰かのためになる」

この言葉は、ある先輩からいただいたお手紙に書かれていた言葉です。

私は大変だな、しんどいなと思うことがあると、ついネガティブな感情になってしまいがちです。

でも、そんなときにこの言葉を思い出すと、目に見える形では分からなくても、きっとどこかで誰かのためになっているはず、もう少し頑張ってみよう、そう思えます。

どんなことも無駄と思わず、誰かのために、小さな積み重ねを続けていきたいです。(T.K)

★御意見・御感想をお待ちしています。

☎ : 0995-63-8137

✉ : airaisa-shido@pref.kagoshima.lg.jp

